学校番号	２１３

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	国語表現　（大修館書店）						
副教材等	ＬＴ現代文２（浜島書店）・国語必携パーフェクト演習（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・3 年生では入試等に必要な語彙力・漢字力・読解・表現力を身につけましょう。
・教科書・現代文問題集・国語基礎知識問題集を適宜使用し、小テストを行って定着を図ります。
・問題集の予習・国語常識問題集の小テストの準備を課します。
・提出物の期限は守りましょう。

2　学習の到達目標

・進学・就職したのちに必要となる国語の基礎知識を使いこなすことができる。
・目的や場にふさわしい語句・文体を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d 読む能力	e 知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深める。	相手や目的に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深める。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検	行動の観察	記述の確認 小テスト・定期考査		行動の観察 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	書いて伝える	わかりやすい文を書くための基本的な決まりを学習する。 現代文の問題集・語彙の問題集に取り組む。	○		◎		○	a:整った文章を書くための決まりを理解する。 c:正しく文章を書く。 e:語彙力・漢字力の習得	作文 小テスト 定期考査
	小論文入門	小論文書くための基本的な決まりを学習する。 現代文の問題集・語彙の問題集に取り組む。	○		◎		○	a:小論文の基本的な書き方を理解する。 c:正しく文章を書く。 e:語彙力・漢字力の習得	小論文 小テスト 定期考査
	自己pRと面接	自分の長所・経験などから効果的な自己PRをする。 現代文の問題集・語彙の問題集に取り組む。	○	◎	◎		○	a:自分を見つめ、特長を知る。 b:他者の意見を聞いて自分の長所を知る。 c:他者の評価を書く。 e:語彙力・漢字力の習得	自己PR発表 小テスト 定期考査
二学期	声のコミュニケーション	聞くこと・話すこと・伝え合うことを見直し、コミュニケーションについて新たな発見をする。 古今の優れた文章を音読・暗唱する。	○	◎	◎		○	a:話すこと・伝えることの楽しさを知る。 b:他者の発表を聞いて良さを評価する。 c:正しく文章を書く。 e:語彙力・漢字力の習得	暗唱発表 小テスト 定期考査
	ショートスピーチ	ショートスピーチをする。 傾聴の態度を養う。 現代文の問題集・語彙の問題集に取り組む。	○	◎	◎		○	a:自分を見つめ、特長を知る。 b:他者の意見を聞いて自分の長所を知る。 c:正しく文章を書く。 e:語彙力・漢字力の習得	ショートスピーチ発表 小テスト 定期考査

二学期	会話・議論	適切な言葉づかいでロールプレイをする。 敬語を使いこなす。 司会者などの役割を理解し、建設的な議論・会話をする。	○	◎	◎		○	a:建設的な会話をする姿勢を養う。 b:他者の意見を聞いて議論を進める。 c:議論の流れを文章化する。 e:語彙力・漢字力の習得	ロールプレイ 小テスト 定期考査
三学期	手紙・通信文	さまざまな通信文の形式を理解し、相手に応じた通信文を書く。	○	◎	◎		○	a:通信文の特徴を知る。 b:実際の通信文を聞いて味わう。 c:正しく通信文を書く。 e:語彙力・漢字力の習得	通信文提出 小テスト 定期考査
	プレゼンテーションの工夫	視覚的資料を使いながら効果的なプレゼンテーションを行う。 現代文の問題集・語彙の問題集に取り組む。	○	◎	◎		○	a:プレゼンテーションとは何かを知る。 b:話すこと・他者の発表を聞くことで意見の主張のあり方を学習する。 c:効果的に意見を述べる文章を書く。 e:語彙力・漢字力の習得	プレゼンテーション 小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d：読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。